

科目名		一般構造Ⅰ			
担当教員		広川 智子		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで一般構造の基礎的な仕組みを理解しておく必要があります。そのために授業では、建築物の構造の基礎的な仕組みと木構造を中心に解説します。構造の仕組みと木構造を理解でき、説明できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→2級建築士の試験問題（法令集で確認）→解説を繰り返します。2～4回の授業毎に評価テストを実施し、理解度を確認します。			
学習目標（到達目標）		前期は建築物の構造の種類や基本的な仕組み木構造を中心に学び、2級建築士学会試験の科目範囲の合格点に達するための理解を目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①建築関係法令集 発行：（株）総合資格学院、②配布プリント ③図説やさしい建築一般構造 著者：今村仁美・田中美都 発行：（株）学芸出版社			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	基礎、地盤 ①地層による年代区別と土の性質 ②基礎の種類と特徴			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
2	建物にはたらく力 ①荷重の種類、外力の種類と建物にかかる力 ②地震に対する対策と構造計算			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
3	建物全体の構造計算 ①建築構造の分類 ②構造計画			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
4	木構造の基礎知識 ①木材の特徴、木質材料 ②木工造の特徴、構造形式			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
5	在来工法1 ①基礎・地業 ②軸組			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
6	在来工法-2 ①柱頭・柱脚金物の設置基準 ②耐震壁（壁量計算）			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
7	在来工法-3 ①小屋組み ②床組			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
8	在来工法-4 ①階段 ②接合部			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	期末試験	取組姿勢		社会に出てからの実務や建築士試験を受験するときに不可欠な、建築一般構造について解説します。	
40 %	50 %	10 %	%	1年の前期は木造について仕組みを中心に説明し、評価テストで理解度を確認しながら合格基準への到達を目標とします。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。	
実務経験教員の経歴		住宅設計に10年以上従事			